

棚倉町の環境への取組みについて

令和4年8月24日

福島県 棚倉町 住民課

福島県棚倉町の紹介（1）

- 住民課消防環境係
主な業務として、消防団の活動推進、防災・災害の対応、動物愛護、交通関連、そして、環境の取組みなど。
- 人口 13,320人（R4.8.1現在）
- 本町は県南部に位置し、西は栃木県那須町・大田原市、南は茨城県大子町と隣接している。

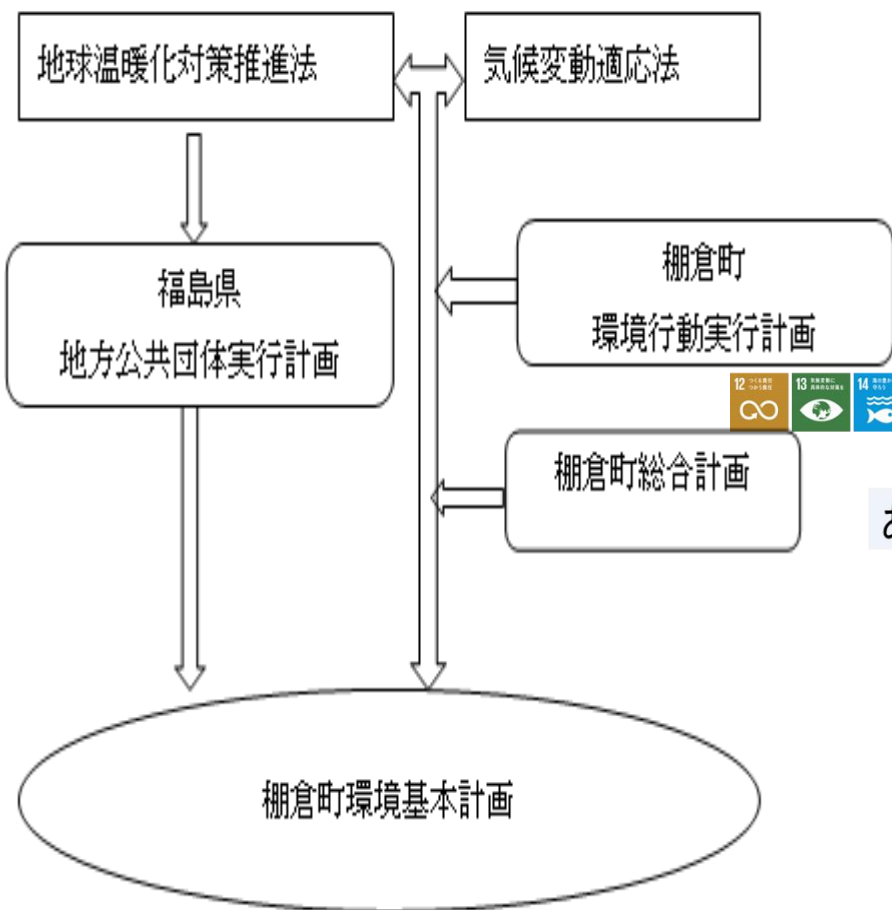
福島県棚倉町の紹介（2）

- **気候**：降水量は適度、降雪量は少ない。台風や地震などの被害も比較的少ない。
- **観光**：紅葉や初詣は山本不動尊。春には城跡お堀を囲む桜並木。
- **美味**：イチゴ大福、美粧石

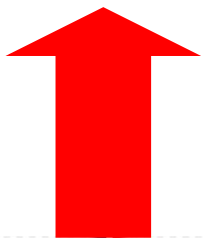
棚倉町の環境への取組み

- 平成12年10月 ISO14001を取得。県内自治体では初
- 平成23年9月 永年登録表彰受賞
- 同年までの登録であったが、現在も取り組みは続いている。

計画の位置づけと基本理念



環境基本計画作成の流れ



適応計画

影響評価

総合計画
環境行動実行計画

気候変動解析	気温、降水量、降雪量、湖沼水温
気候予測	気温、降水量、降雪量、湖沼水温
水資源・水環境	河川流量
	SS
防災	クロロフィルa (水ストレス)
	洪水
森林	斜面崩壊
	砂浜侵食
農業	ブナ
	コメ
	もも適域
健康	りんご適域
	なし適域
	熱ストレス死亡リスク
	熱中症死亡者数
	ヒトマジノカ分布可能域

気候因子と
評価対象との関係

MIROC 140km GCM

AMeDAS観測値と
比較

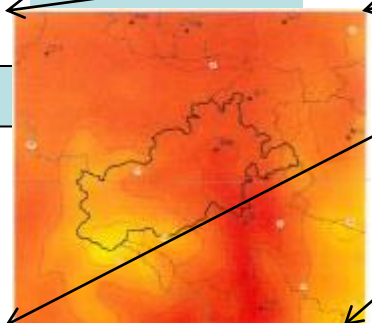
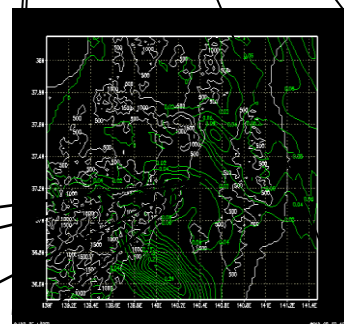
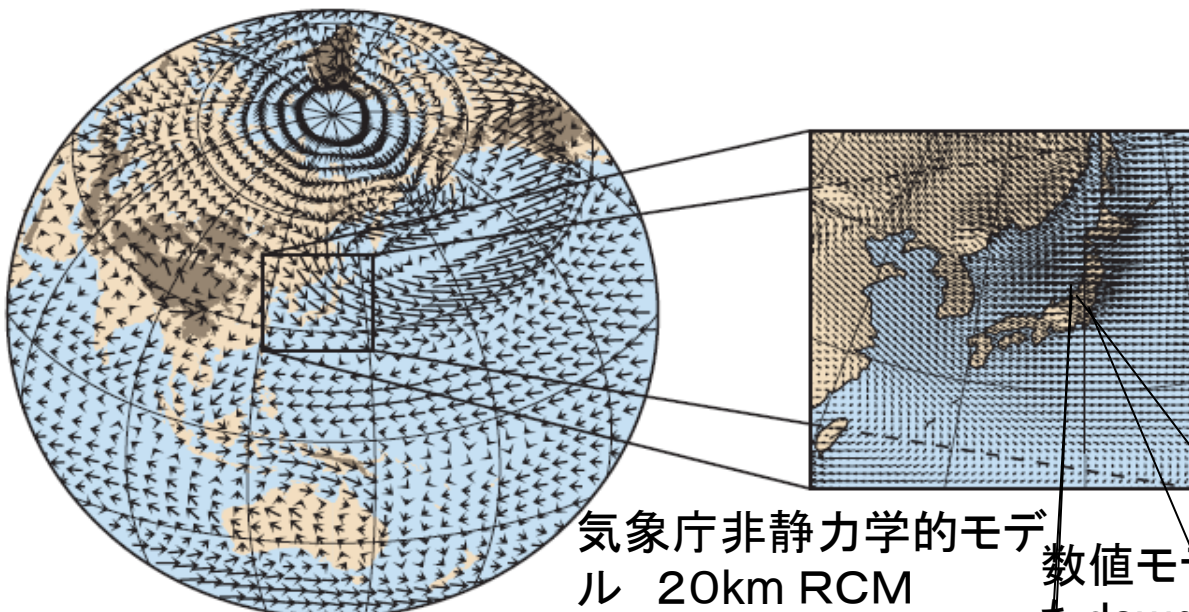
統計的 1km
downscale

気象庁非静力学的モデル
20km RCM

数値モデルを用いたdownscale

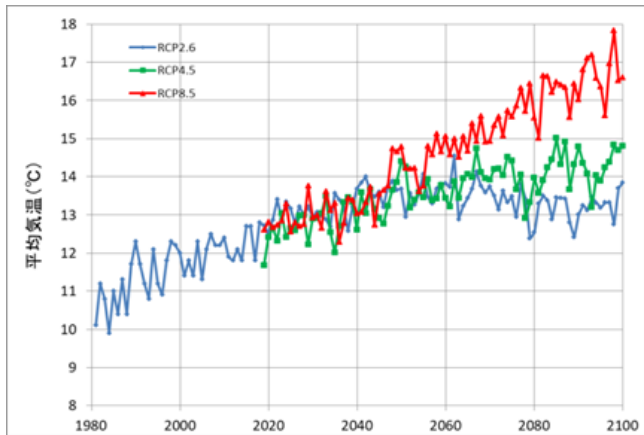
統計的手法

気象庁非静力学モデル
5km MCM

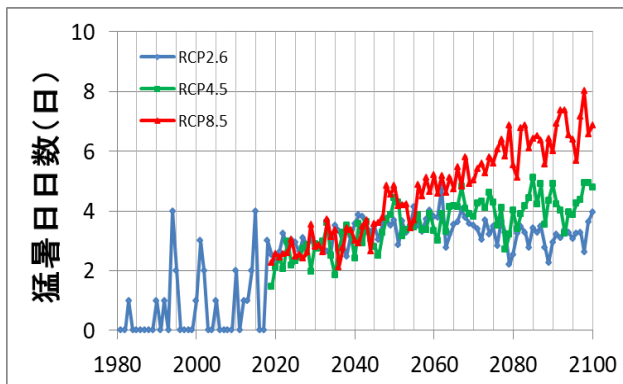


棚倉町のこれまでの気候変動と今世紀末までの気候予測とその影響

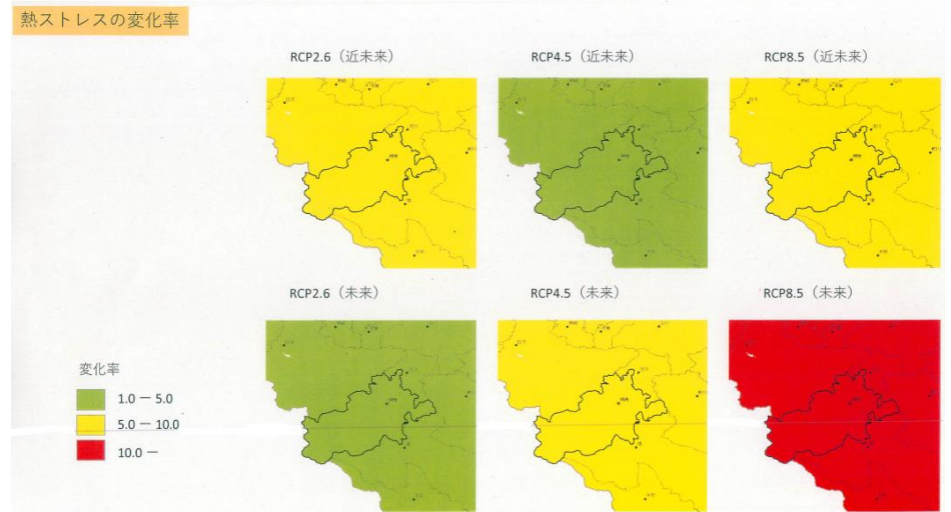
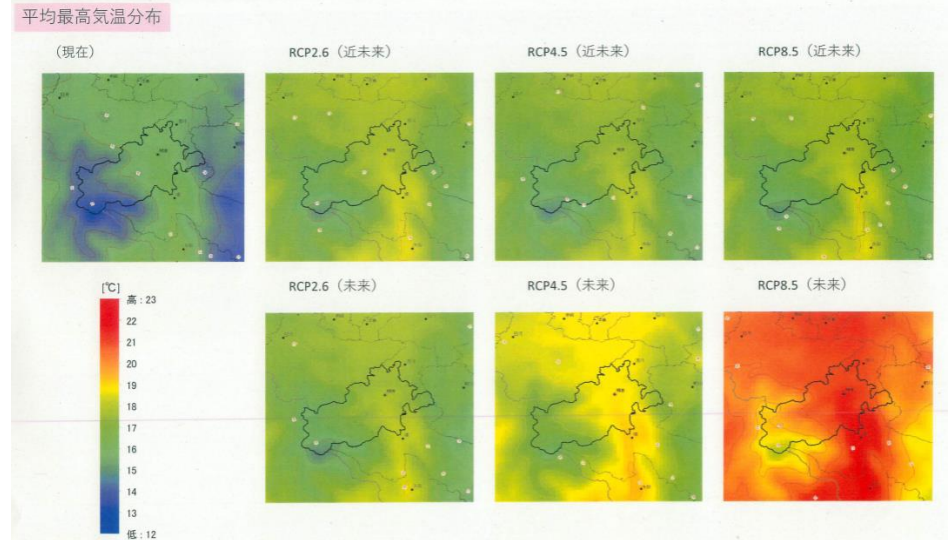
気温変動とその影響



平均気温の変動と予測



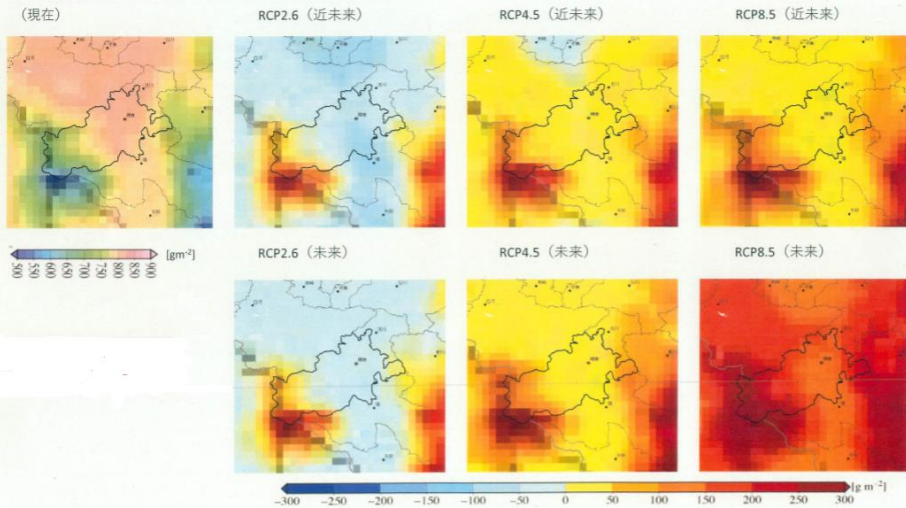
猛暑日の出現日数



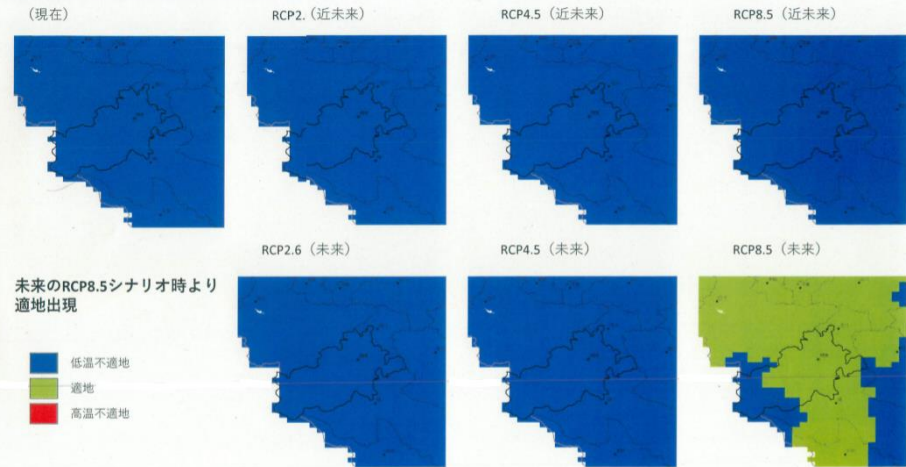
RCP2.6 で1.7°C上昇の13.2°C, RCP4.5 で2.8°C上昇の14.3°C, RCP8.5で5.0°C上昇の16.5°C

気温変動の影響

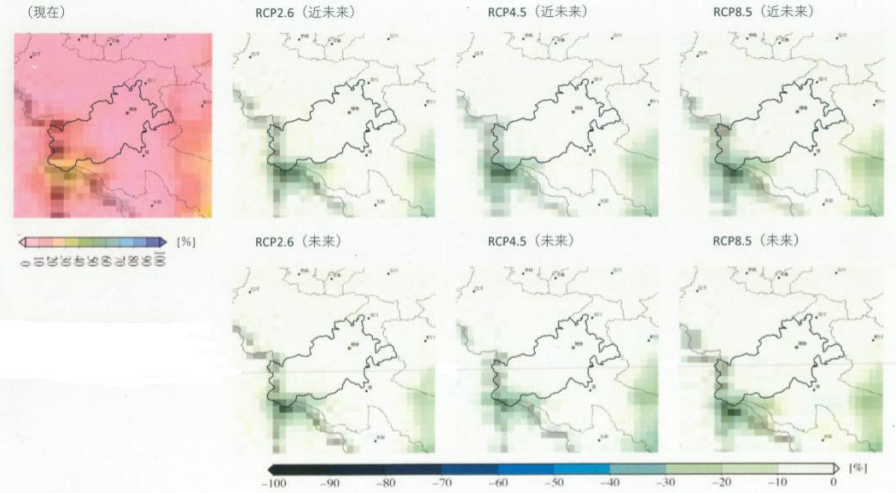
コメの18年平均収量の変化：近未来（未来）－ 現在



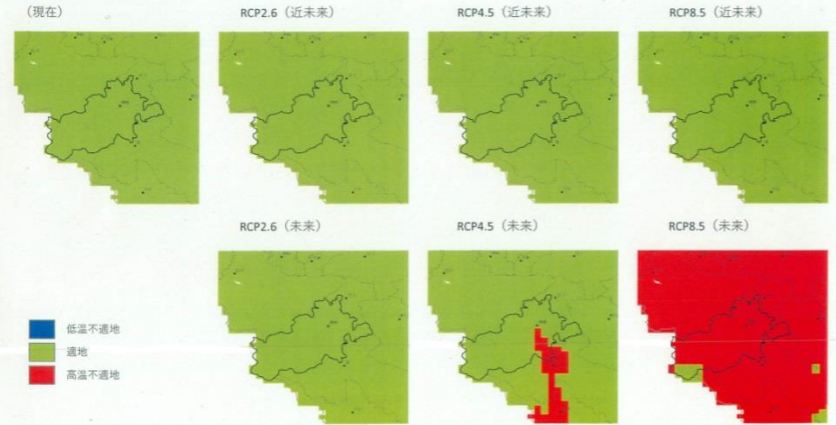
うんしゅうみかんの影響評価適地



コメの低温による不稔率の変化：近未来（未来）－ 現在

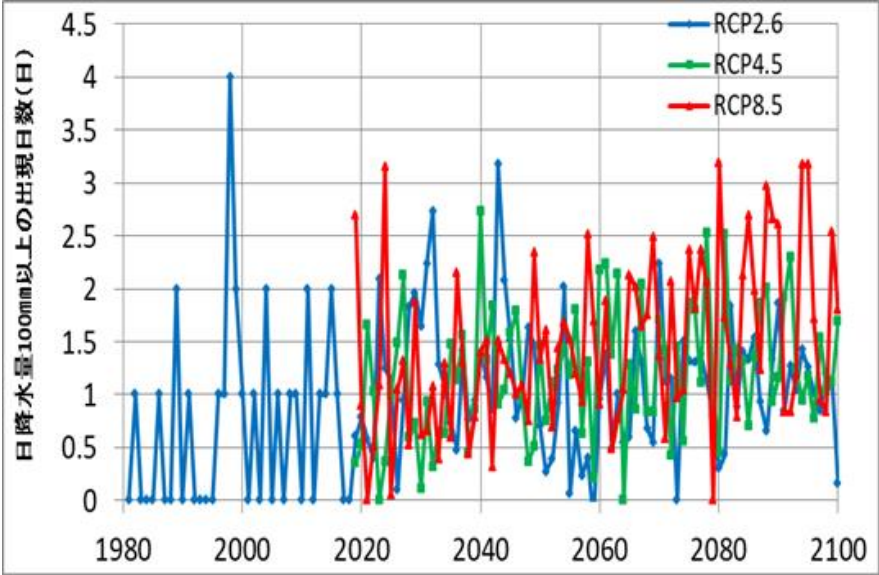
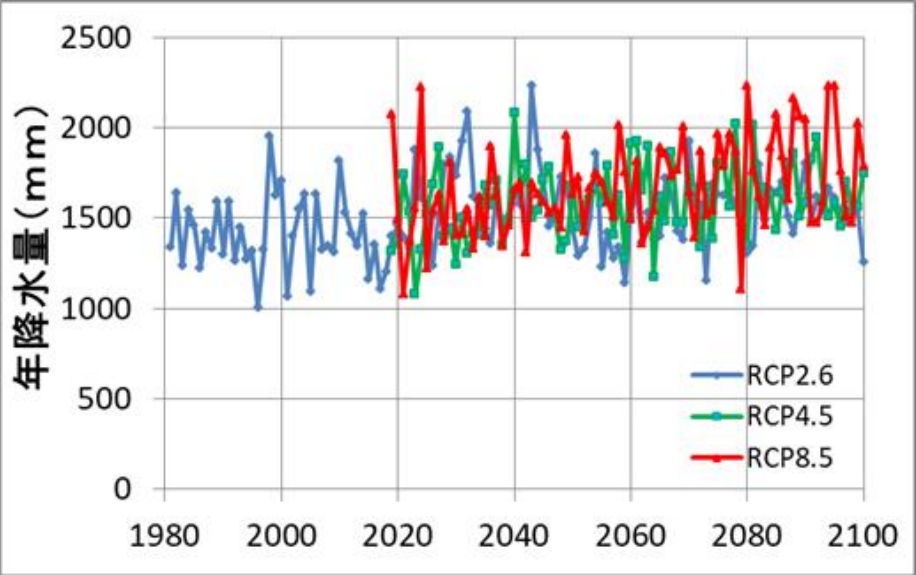


リンゴの影響評価適地



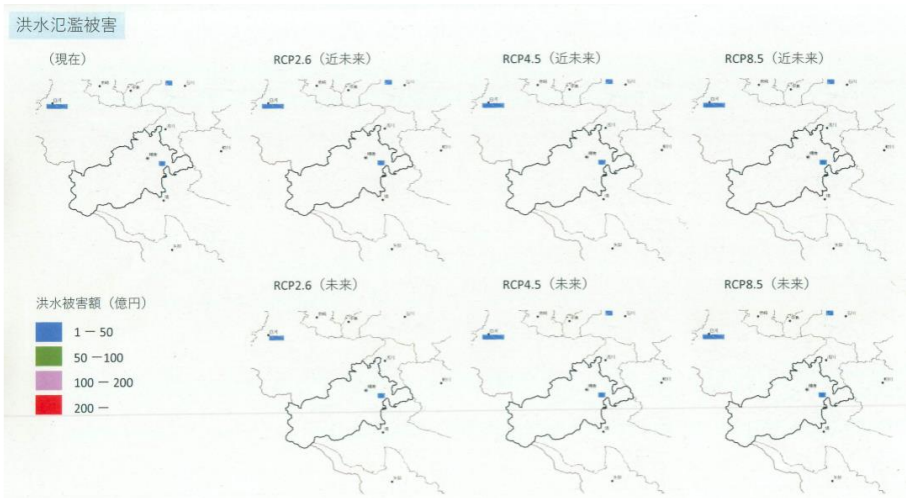
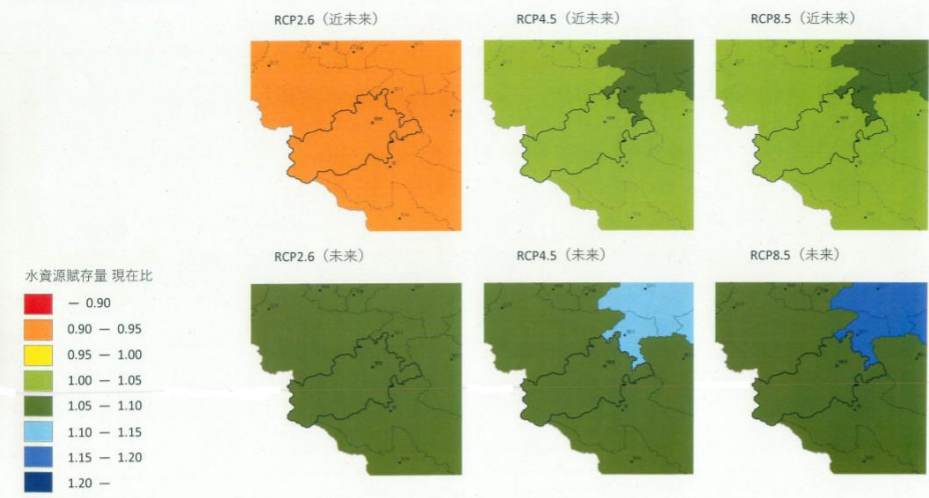
モモは全域で適地、タンカンは全域で低温不適地

降水量変動とその影響



RCP2.6 で148mmの増加の1566mm, RCP4.5 で241mm増加の1659mm, RCP8.5で386mm増加の1804mm

各地域の水資源賦存量



計画の推進体制と進行管理

